＜様式1＞

平成 27年 05月 22日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	新潟の地域『DASUKE』の家　Vol.4
グループの名称	新潟の家『DASUKE』工務店の会
直近採択グループ番号 ※過去に地域型ブランド化事業で採択を受けたグループは記入	04-0057-0181

（グループ代表者）

代表者名	鈴木　巌　代表者印
代表者所属先	株式会社 鈴木組
代表者構成員番号	Ⅵ-1
代表者所在地	新潟県新潟市北区内島見817
代表者電話番号	025-387-3736

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社 鈴木組
事務局構成員番号	Ⅵ-1
事務局担当者名	鈴木　巌　印
事務局郵便番号	950-3306
事務局所在地	新潟県新潟市北区内島見817
事務局電話番号	025-387-3736
事務局FAX	025-387-5769
事務局担当者E-mail	mail@suzuki-gumi.co.jp

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	新潟の地域『DASUKE』の家　　Vol.4
２．グループの名称(必須)	新潟の家『DASUKE』工務店の会
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0057-0181
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	新潟県
５．結成年(必須)	2011　年
６．グループ代表者名(必須)	鈴木　巌
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 鈴木組
８．グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅵ-1
９．グループ代表者所在地(必須)	新潟県新潟市北区内島見817
１０．グループ代表者電話番号(必須)	025-387-3736
１１．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 鈴木組
１２．グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅵ-1
１３．グループ事務局担当者名(必須)	鈴木　巌
１４．グループ事務局郵便番号(必須)	950-3306
１５．グループ事務局所在地(必須)	新潟県新潟市北区内島見817
１６．グループ事務局電話番号(必須)	025-387-3736
１７．グループ事務局FAX番号(必須)	025-387-5769
１８．グループ事務局担当者E-mail(必須)	mail@suzuki-gumi.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	1	原木供給業者が海外であったため、本申請の念書添付が期限内の入手が不可能であった為、原木供給業者の登録を行っていない。該当事業者の原木出荷が適合している事を、認証制度に基づく証明書の添付を以て示す。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	3	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	1	
Ⅳ．プレカット	3	
Ⅴ．設計	5	
Ⅵ．施工	5	
Ⅶ．省エネルギー設備等の流通	0	
Ⅷ．木材を扱わない流通	0	
Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種	0	

A．使用する地域材に関する事項　(必須)

対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の①、②、③の番号を番号記入欄に記入してください。 ①都道府県の産地認証制度等によるもの ②民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) ③林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの	番号記入欄	国内・国外
森林認証材	国外	PEFC-CoC認証制度	3	国外
越後杉	新潟県	越後杉ブランド認証制度	1	国内

B．平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数　(必須)

長寿命型（長期優良住宅）経験工務店＋未経験工務店の合計	30	戸			地域材加算合計	30 戸
うち経験工務店による長期優良住宅　合計	30	戸	うち未経験工務店による長期優良住宅　合計	0	戸	
うち申請が確実	10	戸	うち申請が確実	0	戸	地域材加算（うち申請が確実） 10 戸
うち申請が未確定	20	戸	うち申請が未確定	0	戸	地域材加算（うち申請が未確定） 20 戸
高度省エネ型（認定低炭素住宅）　合計	3	戸	地域材加算合計	3	戸	
うち申請が確実	1	戸	地域材加算（うち申請が確実）	1	戸	
うち申請が未確定	2	戸	地域材加算（うち申請が未確定）	2	戸	
高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）　合計	0	戸	地域材加算合計	0	戸	
うち申請が確実	0	戸	地域材加算（うち申請が確実）	0	戸	
うち申請が未確定	0	戸	地域材加算（うち申請が未確定）	0	戸	

C．平成２７年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)

優良建築物				
うち申請が確実	1	棟	200	㎡
うち申請が未確定	0	棟	0	㎡

D．当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール　(必須)

長期優良住宅未経験先は昨年全社が達成しているため、経験実績戸数が少ない工務店へ優先的に分配を行う。
そして施工確定物件から順に分配し、最終的に全社にいき渡らせグループ全体で30戸の利用を予定する。

E．平成26年度の執行状況（H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須）

長期優良住宅					完了実績見込み	
採択戸数	12	戸	交付申請戸数	10 戸	竣工済 4 戸	竣工予定 6 戸
木造建築物						
採択棟数	0	棟	採択床面積	0 ㎡		

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅰ＞

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
原木供給業者が海外であったため、本申請の念書添付が期限内の入手が不可能であった為、原木供給業者の登録を行っていない。該当事業者の原木出荷が適合している事を、認証制度に基づく証明書の添付を以て示す。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
15	Ⅰ － 2	新潟県森林組合連合会		950-2144	新潟県新潟市西区曽和521-3	025-261-7111
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

<グループ構成員記入用リスト>Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

<様式 2-2・Ⅱ>

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
33	Ⅱ － 3	銘建工業 株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209	0867-44-2695
33	Ⅱ － 4	インノショウフォレストリー 株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22-1	0868-28-2111
15	Ⅱ － 5	株式会社 坂詰製材所		959-2221	新潟県阿賀野市保田3858番地	0250-68-2250
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）　　＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
21	Ⅲ － 6	株式会社　エヌ・シー・エヌ		509-1105	岐阜県加茂郡白川町河岐766番地	03-6872-5601
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

<グループ構成員記入用リスト> Ⅳ. プレカット(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅳ>

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
21	Ⅳ － 7	セブン工業 株式会社		505-0016	岐阜県美濃加茂市牧野1006	0574-28-7800
9	Ⅳ － 8	株式会社 タツミ 北関東工場		321-2344	栃木県日光市猪倉3588番1号	0288-32-2370
14	Ⅳ － 9	株式会社 カナモク		252-0002	神奈川県座間市小松原1-22-8	046-251-0866
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅴ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
15	Ⅴ － 10	株式会社 星野建築事務所		951-8008	新潟県新潟市中央区窪田町二丁目116番地	025-229-2302		
15	Ⅴ － 11	株式会社 二幸住建		944-0137	新潟県上越市板倉区吉増1892	0255-78-3856		
15	Ⅴ － 14	株式会社 カネタ建設一級建築士事務所		941-0062	新潟県糸魚川市中央2-4-2	025-552-0456		
15	Ⅴ － 15	鈴木組一級建築士事務所		950-3306	新潟県新潟市北区内島見817	025-387-3736		
15	Ⅴ － 16	佐藤建築設計事務所		948-0103	新潟県十日町市小泉167-1	025-755-8002		
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

<グループ構成員記入用リスト>VI. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・VI-1>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
VI. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							○	○
15	VI - 1	株式会社 鈴木組		950-3306	新潟県新潟市北区内島見817	025-387-3736	○	
15	VI - 10	株式会社 星野建築事務所		951-8008	新潟県新潟市中央区窪田町二丁目116番地	025-229-2302	○	
15	VI - 11	株式会社 二幸住建		944-0137	新潟県上越市板倉区吉増1892	0255-78-3856	○	
15	VI - 12	皐工務店 株式会社		948-0122	新潟県十日町市上野甲1081番地	025-761-7024		○
15	VI - 13	株式会社 カネタ建設		941-0062	新潟県糸魚川市中央2-4-2	025-552-0456	○	
	VI -							
	VI -							
	VI -					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工－2（長寿命型）

<様式 2-2・Ⅵ-2>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年(1月～12月)実績				補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工-2(長寿命型)			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
15	Ⅵ － 1	株式会社 鈴木組	3 戸	2 戸	3 戸	2 戸	○	
15	Ⅵ － 10	株式会社 星野建築事務所	10 戸	10 戸	8 戸	7 戸	○	
15	Ⅵ － 11	株式会社 二幸住建	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	○	○
15	Ⅵ － 12	畠工務店 株式会社	3 戸	2 戸	1 戸	0 戸	○	○
15	Ⅵ － 13	株式会社 カネタ建設	17 戸	16 戸	2 戸	1 戸	○	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-3(高度省エネ型)

<様式 2-2・Ⅵ-3>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年(1月～12月)実績						補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工-3(高度省エネ型)			元請の新築住宅供給戸数		うち木造認定低炭素住宅		うち木造ゼロエネ住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
15	Ⅵ － 1	株式会社 鈴木組	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
15	Ⅵ － 10	株式会社 星野建築事務所	10 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
15	Ⅵ － 11	株式会社 二幸住建	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		○
15	Ⅵ － 12	阜工務店 株式会社	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		○
15	Ⅵ － 13	株式会社 カネタ建設	17 戸	16 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ．施工－４(優良建築物用)

<様式 2-2・Ⅵ-4>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年(1月～12月)実績						補助金の活用実績
Ⅵ. 施工-4(優良建築物)			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		着工床面積		
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○
15	Ⅵ － 1	株式会社 鈴木組	3 戸	2 戸	3 戸	2 戸	0 ㎡	0 ㎡	
15	Ⅵ － 10	株式会社 星野建築事務所	10 戸	10 戸	8 戸	7 戸	㎡	㎡	
15	Ⅵ － 11	株式会社 二幸住建	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
15	Ⅵ － 12	皐工務店 株式会社	3 戸	2 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	
15	Ⅵ － 13	株式会社 カネタ建設	17 戸	16 戸	2 戸	1 戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸

<グループ構成員記入用リスト>Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通

<様式 2-2・Ⅶ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －

<グループ構成員記入用リスト>Ⅷ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅷ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ. 木材を扱わない流通						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅸ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種						
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）新潟の地域『DASUKE』の家　Vol.4	（地域型住宅供給対象地域）新潟県
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）新潟の家『DASUKE』工務店の会	（結成年）2011 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0057-0181	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	重視する性能は耐震性能です。新潟県は、世界有数の豪雪地域があり、また11年前には新潟中越地震も経験しております。 地域の差はありますが、住宅の耐震性能は、高い性能が必要であるとグループで共有しております。 そこで、許容応力度計算により「耐震等級3・耐風等級2」の共通性能を確保する事を共通ルールとして定めております。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	過去に大きな震災も経験し、冬季における積雪荷重は無視できない地域のため、構造は数値化可能な集成材と金物による木質ラーメン工法を採用する事を共通ルールとして定めております。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	冬季の日照時間が少ない地域のため、開口や間取りのデザインは開放性を考慮致します。	◎
④ ①～③の背景	県が南北に長い形状のため冬場の積雪量は地域によって差があり、世界有数の豪雪地帯も存在します。また日本海に接している地域は風の強さも無視できない要素です。 その地域性を、耐震・耐風性能を共通化することで、安心した暮らしをグループで提供できると考えております。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	夏はフェーン現象の影響で気温が上がりやすく多湿でありますが、逆に冬は降雪地帯になります。冬は日照時間が短く、 近年は平野部でも降雪量が増えております。従って年間を通して、エネルギー消費が多い地域であると言えます。そこでエネルギー消費量を減らすため、グループ共通の『省エネルギー性能報告書』を作成し、エネルギーの『見える化』をしております。	◎

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	許容応力度計算上必要な耐力壁については、全棟プレカット工場から支給されるJAS規格 特類1級構造用合板を使用します。	◎
	②建材・資材調達の共同化や事務の合理化	構造部材については、全て指定材料のみを使用することで、資材調達の合理化をしております。	◎
	③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	施工業者が提出した構造材納品アンケートを元に、プレカット工場と建材流通業者で実施する『品質管理委員会』において生産の更なる合理化を目指しております。	◎
	④生産の合理化等に向けた事務局の役割	グループ事務局は品質管理委員会の内容を、グループ定期会合時に報告を行います。	◎
b.	①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	グループ共通の『施工マニュアル』を使用して確実に施工を行い、高い性能を持つ住宅を担保致します。	◎
	②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	グループ共通の検査方法をまとめた『検査報告書』を作成し、目に見えなくなってしまう構造躯体の写真と構造計算書を取りまとめた『性能報告書』を、引渡時にお客様へお渡しします。	◎
	③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	地域材の積算に関しては、「一式」表記を用いず「数量」表記とし、数量・単価等を明確にします。	◎
	④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	共通の検査書式を使用した『検査報告書』を元に、大手損害保険会社引受による『構造性能保証書』を発行し、 お客様への更なる安心を提供しております。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		信頼を確保するために、施工だけでなく構造設計についても、グループ共通の『構造設計マニュアル』を作成し使用しております。	◎

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式3－2＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 新潟の地域『DASUKE』の家　Vol.4	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県
2．グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新潟の家『DASUKE』工務店の会	(結成年) 2011 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0057-0181	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理診断・点検方法の共通化	瑕疵保険終了となる10年目に関しては、全社共通の点検シートを使用し、定期点検を行う事を共通ルールとしております。	◎
	②メンテナンス・リフォーム基準の整備	メンテナンスについては長期優良住宅の維持管理に則った方法で行います。 リフォームについては、グループ定期会合時に各社事例発表を行い、リフォームに適した施工についての情報交換を行っております。	◎
	③住まいの管理・DIY相談会体験会などの実施	お客様に家のお手入れ方法を引渡時にお伝えする事が、一番大切であるとグループで共有しております。 そこで、その家で使われている部材の『取扱説明書』をファイリングし、各所ごとの使用方法とメンテナンス方法を説明します。	◎
	④グループ内における維持管理検討委員会等の設置	施工グループより各社1名選出の上、維持管理検討委員会を設立し、共通の定期点検マニュアルを策定します。	◎
b	①グループ構成員の倒産廃業時のバックアップ体制	昨年度よりグループ内に経営委員会を設置し、経営の勉強会を実施してきました。そこで、グループ共有のルールとして、お客様へ完成保証制度を提案し、万が一のバックアップ体制を整えることを共通ルールとしております。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保ルールの整備	瑕疵担保保険に加え、最長20年の構造保証を付保します。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		維持管理検討委員会において、住宅履歴情報の保存方法を具体化します。	○

エ．グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	長期優良住宅未経験先は昨年全社が達成しているため、今年度においては省エネ基準達成を目指し勉強会を実施致します。	◎
	② ①の研修会等の実施内容とその開催頻度	省エネ基準の勉強会を年に4回実施いたします。	◎
	③総合的な需給計画の策定等の中長期的な取組	長期優良住宅及び平成25年度改正省エネルギー基準の未経験工務店を、将来的にグループ構成員の追加を視野に入れていきます。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化への取組	未経験工務店を増やすことにより、全体の供給戸数も増えると予想されるので、上越・中越・下越各地方で、全業種ごとに構成員追加も視野に入れ供給体制を整えることを目標にしています。	○
b	①省エネ技術講習会への参加目標人数	施工グループ各社の複数の社員が受講する事を目標にしております。	○
	②省エネ技術講習会への参加促進のための取組	グループ内で共通のメールアドレスを設定しましたので、省エネ技術者講習会が新潟県内で開催される際には事務局より告知を行い、講習会参加を促します。	◎
c	①新たな技術等の導入や開発の検証のための方法	ゼロ・エネルギー住宅の提案を今後視野に入れ、グループ各社が関連する勉強会に参加し、設計技術の向上を図ります。	○
	②新たな技術等の導入や開発に向けた実証実験の実施等	グループ各社でプランを持ち寄り平成25年度改正省エネ基準を元に一次エネルギー消費量計算を行い、地域ごとに最適な削減率について検証を行っていきます。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		施工の合理化とロスを少なくする為、羽柄材のプレカットの導入をグループで検討しており、将来的に全棟羽柄材プレカット導入を目標にしております。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式3－3＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）新潟の地域『DASUKE』の家　Vol.4	（地域型住宅供給対象地域）新潟県
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）新潟の家『DASUKE』工務店の会	（結成年）2011 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0057-0181	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①地域材ごとの使用部位（必須）	PEFC-CoC認証制度を使用した構造材を、土台を除く主要構造材（柱・横架材）に使用いたします。	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合（必須）	過去3年間の1棟あたりの地域材使用量は80%を超えており、グループとしては地域材を過半以上使用します（平均13㎥／戸）。	◎
	地域材利用に関する共通ルール（必須）	土台を除く主要構造材（柱・横架材）にPEFC－COC認証制度を過半以上使用いたします。	◎
	地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	地域材としてはPEFC－COC認証制度に加え、新潟県産材の「越後杉ブランド認証制度」を間柱に使用します。	
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組	グループ定期会合時に価格情報や現在の木材流通等の情報を、建材流通業者より報告を受けております。	◎
	②グループ全体における地域材の需給予測	過去3年間の1棟あたりの地域材使用量は平均13㎥を使用しております。グループ全社の、平成27年度新築予測数は30棟ですので、13㎥×30棟＝390㎥の地域材出荷を、グループ全体で予測しております。	○
c	①-1 畳の活用	耐震性能・耐風性能を優先しているので、グループでは特に検討をしておりませんが、今後施工勉強会等で情報交換の場を設けていきます。	○
	①-2 和瓦の活用	耐震性能・耐風性能を優先しているので、グループでは特に検討をしておりませんが、今後施工勉強会等で情報交換の場を設けていきます。	○
	①-3 襖の活用	耐震性能・耐風性能を優先しているので、グループでは特に検討をしておりませんが、今後施工勉強会等で情報交換の場を設けていきます。	○
	①-4 障子の活用	耐震性能・耐風性能を優先しているので、グループでは特に検討をしておりませんが、今後施工勉強会等で情報交換の場を設けていきます。	○
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	今後新しい構成員の追加等により、上越・中越・下越各地方の伝統等を学んでいきます。	○
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	冬季の日照時間が少ない地域のため、開口や間取りのデザインは開放性を考慮致し、グループ会合時等に間取りで勉強会を実施していきます。	○
	②地域の住まい方の継承につながる取組	スケルトン＆インフィルによる可変性のある設計をすることにより、将来住まい手が変わったとしても、長く住まい続けられるようにしていきます。	◎
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	多雪地域での耐雪住宅の提案をすることにより、地域の問題である高齢者による雪下ろしの事故軽減を目指し、高齢者にも住みやすい環境を整えるとともに空き家対策にも寄与していきます。	◎
	④和の住まいの要素を取入れた取組	耐震性能・耐風性能を優先しているのでグループでは特に検討をしておりませんが、施工グループの建物見学等で、情報交換の場を設けていきます。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		今後新しい構成員の追加等により、上越・中越・下越各地方の地域ごとのデザイン等を学んでいきます。	○

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	東北復興支援はグループ全体の思いでもあり、グループ結成時から復興への活動をしております。 引き続き東北被災地生産の床合板を使用し、震災復興支援と雇用形態が生み出す『経済活動』に寄与していきます。	◎

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

◎高度省エネ型
認定低炭素住宅＝新潟の地域『DASUKE』の家

耐震性能を確保しつつ、冬場の日照時間の少ないため、エネルギー消費量が多い地域です。そこで、認定住宅を取得することで、エネルギー消費量を削減する事を目的とします。また、新潟市内では、長期優良住宅が困難な住宅もあり、その際は認定低炭素住宅を提案します。
一次エネルギー消費量の削減は当然ながら、その他の認定基準としては、『木造建築物』は及び『設置する便器の半数以上に節水に資する便器を採用』し、劣化対策等級3相当の基準で設計を行います。

◎優良建築物型
認定低炭素建築物

耐震性能を確保しつつ、一次エネルギー消費量の削減は当然ながら、その他の認定基準としては、
『木造建築物』は及び『設置する便器の半数以上に節水に資する便器を採用』し、劣化対策等級3相当の基準で設計を行います。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。